

～ 築港・ベイエリア地区 ～

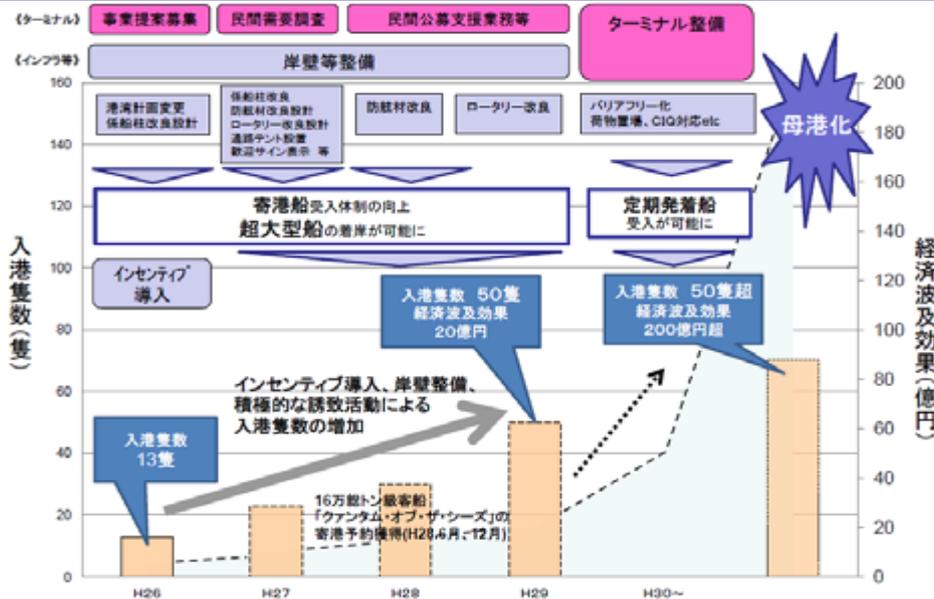
クルーズ客船の母港化

【概要】
 ・経済波及効果が高く、観光都市として世界への発信力の強化にも資するクルーズ客船の母港化（拠点港化）につなげる。

【取組状況】
 ・大阪港クルーズ客船誘致推進会議の設置（H24.8月）
 ・クルーズ客船母港化計画調査（H24年度）
 ・クルーズ客船乗客を対象とした水上アクセスツアーの検討及びトライアルツアーの実施（H24年度）
 ・天保山客船ターミナルの事業化調査（H25年度）
 ・天保山客船ターミナル整備・運営に係る事業提案の募集を実施（H26.5月～6月）
 しかし、事業提案では、民間事業者自らが事業を実施する提案はなく、整備・運営を行う事業者を公募するには、さらに検討が必要な状況
 ・競争力のあるインセンティブの導入（クルーズ客船に対する使用料を全額免除し、0円に）（H26.6月～）
 ・サイン計画の作成（H26.9月～）
 ・天保山客船ターミナル整備の民間需要調査の公募実施（H27.6月～）
 ・大型クルーズ客船に対応した岸壁機能強化の実施や、歓迎サインなどの設置（H27年度）

【成果】
 ・平成26年6月から導入した「競争力のあるインセンティブ」により、客船誘致にはずみがついている。
 ・官民連携によるサイン整備の取り組みに着手
 ・官民一体による誘致活動の連携・協力の取り組みが広がっており、官民で構成される大阪港クルーズ客船誘致推進会議では、平成26年度に「大阪港からのクルーズ客船オプションツアー提案書」を作成
 ・16万総トンクルーズ客船「クァンタム・オブ・ザ・シーズ」の平成28年入港予約を獲得、
 入港隻数は平成26年13隻（実績）、平成27年21隻（見込）、平成28年30隻（予定）

クルーズ客船の母港化に向けた全体スケジュール



インナーハーバーの再生強化

【概要】
 民間活力の導入による魅力的な集客観光拠点の創出

【取組状況】
 天保山ハーバービレッジ
 ・駐車場・人工地盤等の市所有施設を一体的に貸付するため(株)海遊館と10年間の定期建物賃貸借契約を締結（H25.4～）
 ・日除け・雨除け通路の設置や広場の美装化、緑地歩道における安全性向上のための改修工事を実施（H25.4～）
 ・地元とコラボレーションしたイルミネーション等集客イベントの実施（H26）
 大阪文化館・天保山（旧サントリーミュージアム）
 ・事業者の公募を実施し、オリックス不動産(株)と10年間の定期建物賃貸借契約を締結（H25.1.31）
 ・『大阪文化館・天保山』としてオープン（H25.4～）
 ・「長瀬剛 第5回 詩画展 2013」を開催（H25.5.11～5.19）
 ・「GeGeGe水木しげるの妖怪樂園」を開催（H25.6.29～9.1）
 ・「藤城清治 ファンタジー展 光の贈りもの」を開催（H25.9.24～11.24）
 ・「機動戦士ガンダム展」を開催（H26.7.12～8.31）
 ・「光と影の芸術人 藤城清治 世界展」を開催（H26.9.27～12.7）
 ・「魔女の秘密展～ボールに包まれた美と異端の真実～」を開催（H27.3.7～5.10）
 赤レンガ倉庫
 ・事業者公募を行う際の計画目標・公募条件等を設定するため、有識者会議を3回開催（H24.12.25/H25.2.28/3.29）
 ・事業者の公募を実施し、(株)クインオートと30年間の事業用定期借地権設定契約を締結（H26.1.31）
 ・事業者による改修工事を経て、クラシックカーミュージアムを核とした新車・中古車の展示販売場や、レストランなどを備えた集客施設としてオープン（H27.6.13）
 中央突堤2号上屋
 ・利活用の用途や売却・貸借の市場性の有無を把握するためにマーケット・サウンディング（市場調査）を実施（H25.10.16～12.18）
 ・事業者公募を行う際の計画目標・公募条件等を設定するため、有識者会議を3回開催（H25.10.18/12.18/H26.3.18）
 ・公募により事業者を決定（H27.3.31）、30年間の事業用定期借地権設定契約を締結予定（H27.10末）

【成果】
 ・各施設における民間事業者の活用が順次進展してきたことから、エリアの魅力向上と集客効果に一定の成果を得ている。
 ・官民及び地域との連携が広がりつつある。

【課題】
 ・官民及び地域との連携を強化し、築港エリアの魅力創出と全体の回遊性を高める取組み
 【今後の方向性】
 ・港区役所・港湾局・経済戦略局・立地企業・地域と連携し、地域ベースで自主的に活動資金を確保しながら、都市魅力の創出、イベントの開催、情報発信等を持続的、自立的に推進することができるエリアマネジメントの仕組みづくり

【課題】
 ・大型化に対応した岸壁機能強化の継続実施
 ・ターミナル整備の民間活力導入の実現
 ・クルーズ客船会社から選ばれるための大阪港の魅力づくり
 ・クルーズ客船母港化計画では、整備目標として、16万総トン3,600人客船のファーストポート・インターポーティング機能、東アジアでの主力の8万総トン客船の乗り換え機能を想定しており、これに基づき岸壁機能を強化しているが、平成27年3月に国が立ち上げた「訪日外国人2000万人の受入に向けた関西ブロック連絡会」においては、22万総トン級の超大型クルーズ客船の対応も視野に入れることとしている。
 【今後の方向性】
 ・大型客船を受け入れるための岸壁の機能強化を継続
 ・ターミナル整備の民間活力導入の可能性について引き続き検討
 ・さらなるおもてなしの向上など、魅力アップにつながる取り組みを継続
 ・22万総トンの超大型客船への対応については、クルーズ客船母港化計画で「長期的に対応すべき戦略」に掲げられており、今後のクルーズの動向などを視野に入れ、対応を引き続き検討していく。

～ 築港・ベイエリア地区 ～

船客万来！築港(OSAKA CHIKKO)を世界を代表する国際集客観光拠点へ！！～クルーズ客船母港化構想～

開発コンセプト

世界的な創造都市に向けてグレートリセット

大阪の再生
～都市魅力創造～

『大大阪』にふさわしい都市魅力創造のシンボルプロジェクト

新しい時代の流れリ・ジェネレーション

クルーズ市場の成長
～新たな需要の取り込み～

- 成長著しい観光産業
- 大阪への寄港ニーズ
- 大きな経済効果

MISSION CHANCE

築港の国際的な集客観光拠点化
世界に冠たる築港ブランドの確立をめざす

JOYFULL PORT CHIKKO

集客観光拠点化戦略

戦略1:クルーズ客船母港化構想
経済波及効果が高く、観光都市として世界への発信力の強化にも資するクルーズ客船の母港化(拠点港化)

戦略2:インナーハーバーの再生強化プログラム
民間活力の導入による魅力的な集客観光拠点の創出

- 天保山ハーバービレッジ
- 旧サントリーミュージアム(天保山)
- 中央突堤2号上屋再開発(ピアCプロジェクト)
- 赤レンガ倉庫

築港エリアマネジメント推進組織(案)

- 築港の世界へのプロモーション
- 文化・集客イベントの開催等

コアメンバー

- 府市観光部局、港湾局
- 区役所
- 集客施設事業者(海遊館他)等

必要に応じて参加

- 地元NPO
- 地域活動団体他

築港の強み

- 豊富な歴史・文化・景観資源
- 大規模集客施設を核とした多様な観光資源
- 関西の海の玄関口
- 日本随一の客船岸壁
- 地元のホスピタリティ
- 都心へ水上アクセス可能

築港の目指す将来像

クルーズ客船の母港化による内外集客力強化に新たなウォーターフロントのまちづくりに挑戦し、世界にアピールできる集客観光拠点をめざす



クルーズ客船母港化構想

クルーズ客船が定期的に発着



インナーハーバーの再生強化プログラム

魅力的な拠点施設の創出



具体化方策

CHIKKO 世界へ開かれた大阪・関西の海の玄関口に

クルーズ客船の母港化

スムーズな入出国体制の確立

- スピーディーなバゲージの受渡施設
- 迅速な手続きが可能なCIQ施設の設置等

競争力のある港湾施設使用料

外国人観光客がストレスなく行動(移動)できる環境づくり

- 観光案内・買物・両替等のインフォメーションの充実
- 案内誘導サインのデザイン統一
- 多言語表記化

H24年度 大阪港クルーズ客船母港化研究会

既存旅客ターミナルの全面改修又は建て替え

他港より競争力のあるインセンティブの導入(入港料、岸壁使用料の減免等)

H26年6月 導入済み

官民による「大阪港クルーズ客船誘致推進会議」立ち上げ(H24)

クルーズ船社へのトップセールス

CHIKKO 内外の観光客でにぎわう港まちに

天保山ハーバービレッジ帯

- イベントの定常化による新たな賑わいの創出
- ペロタクシー(自転車タクシー)の運行によるエリア内回遊性の向上等

海遊館への一体貸付

平成25年4月に人工地盤等の市所有施設を(株)海遊館に一体貸付し、民間のノウハウを活用したサービス向上。

大阪文化館・天保山(旧サントリーミュージアム)

- 海遊館と集客観光面で相乗効果の期待できる施設利用へ転換

民間活力導入による集客力の強化

事業者を公募し、平成24年11月にオリックス不動産(株)に決定。平成25年4月から大阪文化館・天保山として再オープン。

中央突堤2号上屋

- 美しい夕陽を感じるロケーションを活かし、周辺の緑地・岸壁と連携した集客・交流拠点へ転換

民間の企画力を活用した施設へ再生

事業者を公募し、平成27年3月に(株)デカンショパワーに決定。今後、高級中古車販売等を核とし、大阪港を一望できるレストラン・カフェを併設した築港の新たなランドマークとしてオープン予定。

CHIKKO 風情感じる港まちに / 楽しさあふれる港まちに

赤レンガ倉庫

- 歴史ある港風情を活かした集客拠点の創出

民間への売却・賃貸による再生利用

事業者を公募し、平成25年12月に(株)クインオートに決定。平成27年6月にレストラン・カフェを併設したクラシックカーミュージアムとしてオープン。

～ 築港・ベイエリア地区 ～

クルーズ客船の現状・効果

アジアにおいて成長著しい観光産業

大阪への寄港ニーズの増加

大阪港でのクルーズ客船入港数の実績と見通し



クルーズシップターミナルプロジェクトイメージ(天保山)



ピアCプロジェクトイメージ(ウォーターフロントのにぎわい創出)



欧米の主要クルーズ船社が相次いで東アジアに進出
日本においても母港(拠点港)化の検討を進めている

+

クルーズ客船母港化(拠点港)の効果

経済波及効果

- 寄港地である場合の約10倍の経済効果
- 経済効果:年間約207億円
- 税 収:年間約25億円
- 大阪港を母港とし乗船客2500人のクルーズ客船が1回/週航海したケースを試算
- また、母港となると入港回数の増加が見込まれる
- 観光都市としての世界への発信力の強化
- 大阪の世界プロモーションの旗印、都市ブランドの向上(大阪から世界へクルーズ客船が就航しているという魅力)
- シビックプライドの醸成

築港でのクルーズ客船の母港化に向けて、寄港ニーズの増加と海外船社の母港化検討のタイミングを捉えるチャンス

主要事業スケジュール(案)

	H24年度(2012)	H25年度(2013)	H26年度(2014)	H27年度(2015)	～H30年代中旬	備考
プロモーション、エリアマネジメント	推進組織の立ち上げ準備		推進組織によるマネジメント			
クルーズ客船の母港化	観光行政連携 H24協議会立ち上げ	大阪港クルーズ客船誘致推進会議				
	誘致活動	誘致活動				
	施設整備 H24調査により規模等決定	事業化調査	提案募集	民間活力導入の可能性追求	設計施工	
	インセンティブ H26年6月より導入	必要な手続き		インセンティブ導入		
	関係者調整 税関、入国管理、検疫等	関係者調整				
	都心部との水上アクセス	水上アクセスツアーのトライアル	民間事業者による商品化を検討			
インナーハーバーの再生強化	天保山ハーバービレッジ	一体貸付準備	海遊館による活用			
	大阪文化館・天保山(旧サントリーミュージアム)	暫定活用	民間事業者による活用			
	赤レンガ倉庫	条件検討	事業者募集等	民間事業者による活用		
	中央突堤2号屋	年度末に物流施設としての供用廃止	条件検討	事業者募集等	民間事業者による活用	
	サイン整備	管理者間での統一～順次整備				

他の集客・観光施策との連携
ベイエリア地区全体の観光連携